

# 華岡青洲(3代随賢)末裔(本家)所蔵の 国別門人録について(4)

梶谷 光弘

島根大学医学部

	阿波		1361	文政十三寅歳仲夏	徳府東新町	清水宗義
1336	名西郡高原村	多田礼蔵	1362	同歳秋	名西郡高原村	長江舜良
1337	文化五辰年 徳府富田大道	山本健蔵	1363	天保三辰年	徳嶋通町	高瀬三折
		今住泉州堺	1364	同	大代	松尾恭安
1338	同六巳年 板野郡宮島浦	藤田祥珉	1365	天保四巳年		三浦章助
1339	同九申年 那賀郡中島	岸 俊碩	1366	同三年	美馬郡黒石村	三川見龍
1340	同十一戌年 勝浦郡宮井村	清久斎二郎	1367	同四巳年	美馬郡半田	結城玄恵
1341	合水堂 同十三子年 那賀郡	中井峻承	1368	同四巳年	勝浦郡坂本村	山河文得
1342	同十四丑年 郡里	美馬晋三	1369	同六年六月	徳嶋助任町	香山英輔
1343	同年 阿波郡勝命村	多川一蔵	1370	天保七甲年	徳嶋	秦 春龍
1344	合水堂 同年 交野(マ)郡	藤野多門	1371	嘉永三年四月	麻植郡学村	阿部良介
1345	合水堂 文政二卯年 岩脇村	西 岱介	1372	同四年二月	徳島	林 俊岱
1346	同年 名西郡高川原村	松原昌英	1373	同五年六月	板野郡鍛冶屋原村	岸 栄立
1347	同 同年 徳府出来嶋	坂東廉平	1374	同年十一月	名西郡東覚円村	若林新民
1348	同 同四巳年 日和佐浦	遠藤雄策	1375	同六年三月	徳島	浅野良亭
1349	同 同五午年 勝浦郡田野々村	新明民徳	1376	同年七月	名西郡高原村	服部周徳
1350	同六未年 名西郡井内	佐父理純平	1377	同年十一月	那賀郡仁宇谷延野村	
1351	同年 板野郡矢武村	井上虎源太				田中良達
1352	同七申年 勝浦郡板(坂)本村		1378	合水堂 安政三年五月	徳島富田	尾沢隆伯
		山河省三	1379	同(年)九月六日	板野郡矢武村	
1353	合水堂 同年 板野郡備前嶋村	平賀玄岱				井上儀藤太
1354	同 同八酉年 徳府	岡本貫道	1380	同四年九月二十二日		
1355	合水堂 徳府	勝間尚助		{板野郡} 撫養立岩村	西条左門	
1356	同八酉年 撫養四軒家町	森 令徳			在塾中改名昌賢	
1357	合水堂 文政九戌年 勝浦郡坂本村		1381	同 {六} (年) 霜月朔(日)		
		山河春瑞		阿波郡香美	伊藤繁輔	
1358	同十亥年 徳府通町	岡 玄造	1382	同 {七} (年) 二月二十三日		
1359	同十亥年 勝浦郡福原村	山崎劉庵		麻植郡瀬詰村	富本幸平	
		今改健蔵	1383	同 {七} (年) 八月十日	撫養小桑嶋	
	是姓名附落今改記之, 当在于坂東廉平(子)之次矣				天羽一学	
1360	文政四辛巳年 徳府佐古町七丁目		1384	文久三(年)二月	麻植郡三嶋村	
		林 俊龍			水野衛門	

- 1385 明治十三年春三月 板野郡 宮崎栄一郎  
讃岐
- 1386 文化七年午 寒川郡 岡田亮朔
- 1387 同 {八末} 年 高松 木村直蔵  
改名昌軒
- 1388 同年 同所松平讃岐守家中  
六車謙山
- 1389 同年 寒川郡志度 半田周庵
- 1390 同年 金毘羅七ヶ村 三井文友
- 1391 同年 香川郡円座村 品治忠軒
- 1392 同九申年 丸亀藩中 三田玄升
- 1393 合水堂 同年 上木 (マツ) 郡 真部三聊
- 1394 同十四年 多度郡山階村 龜山文泰
- 1395 合水堂 同年 小豆嶋肥土山 佐伯泰朝
- 1396 同年 高松医官 杉原道斎
- 1397 同年 同田町 堀 右膳
- 1398 同年 三本松 堤 有隣  
改名細川元慎
- 1399 同十一戌年 丸亀領櫛梨村 前川同助
- 1400 同年 鵜足郡西二村 大組良増
- 1401 同年 高松領阿野郡南陶村  
平井綾生
- 1402 同十二亥年 大日 (内) 郡引田村  
島田修造
- 1403 合水堂 同年 高松 岡内来蔵
- 1404 同 同十三子年 同所 神保貫通
- 1405 合水堂 同年 高松六条 阿部主計
- 1406 同 同年 豊田郡観音寺村 三野立軒
- 1407 同 文政二卯年 高松 河田敬斎
- 1408 同年 大内郡引田浦 工藤周平  
今改藤岡章平
- 1409 同 同四巳年 河原村 近藤玄朔
- 1410 合水堂 同七申年 高松山田郡前田村  
前田玄禎
- 1411 同 同八酉年 丸亀 松田順二
- 1412 同 同年 同 山跡 一
- 1413 同年 三野郡岡市村 筒井精斎
- 1414 合水堂 同年 丸亀領豊田村 横山 茂
- 1415 文政九戌年 寒川郡志渡浦 三谷文輔
- 1416 同年 小豆島内海上村 中桐文平
- 1417 同十一子年 丸亀藩中 三田随雄
- 1418 天保三辰年 上田 安藤順二
- 1419 天保六年 大内郡引田 藤田洞斎
- 1420 合水堂 天保八酉年 多度郡善通寺
- 1421 同 同十三寅年 鵜足郡岡田村 楠原良助
- 1422 同 同十四卯年 山田郡前田村 前田三衛
- 1423 同十年二月 小豆島内海 江田貞朔
- 1424 弘化四年九月 善通寺 寺主 (マツ)
- 1425 嘉永元年二月 鵜足郡真時村 河野才二良
- 1426 同四年六月 多度郡中村 亀野定一
- 1427 同六年五月 三野郡託間村 富山謙良
- 1428 同七甲寅年五月念八日  
高松藩中本古馬場町 渡瀬卜庵
- 1429 合水堂 同百門町 香川謙斎
- 1430 安政五年 (年) 正月七日 鵜足郡真時村  
河野寿仙
- 1431 同七庚申 (年) 閏七 (月) 初四 (日)  
高松山田郡新田村 飯間謙造
- 1432 合 文久元酉 (年) 九月 丸亀藩中  
三田元津
- 1433 文久二壬戌 (年) 霜月十四日 高松藩中  
杉原養立
- 1434 合 文久三 (年) 六月八日 阿野郡坂出浦  
児嶋専祐
- 1435 明治二年己 (巳) 三月十九日 丸亀藩  
玄武良策
- 1436 同四月十二日 同 田中玄仙
- 1437 同霜月十六日 多度郡吉原村 松岡三郎
- 伊予
- 1438 文化四 (年) 大洲内之子 安川立仙
- 1439 同六巳年 宇麻郡川之江 三宅淳蔵
- 1440 同年 越智郡今治 池山見龍
- 1441 同八未年 大洲喜多郡中村 岩井正元  
一作昌元
- 1442 同年 西条医官 木村右善
- 1443 同九申年 喜多郡内之子 曾根浄斎
- 1444 同年 大洲加藤遠江守家中  
鎌田玄台
- 1445 同年 宇和島 長谷川仲亮

1446	同年	同郡八幡浜	菊池玄碩	1485	同十五辰年	同所	末光良斎
1447	同十四年	大洲中村	後藤春瑞	1486	同年	同所	大野修正
1448	同十二年	松山魚町	烏谷良民	1487	弘化二年十二月	松山城下	服部桂蔵
1449	同年	同利屋町	明星尚圭	1488	同三年九月	大洲内子巷	成瀬玄朝
1450	同十三子年	同家中	天岸桥玄	1489	同年同月	宇和嶋	久保立安
1451	同年	同利屋町	明星熊碩	1490	合水堂	嘉永二年閏四月	松山 進村舩栄
1452	同十四丑年	周布郡小松領吉田村		1491	合水堂	同二年十二月	三津ヶ浜夷子町
			門川春堂				岡田玄碩
1453	合水堂	同十五寅年	松山 柴崎玄順	1492	同三年五月	宇摩郡藤原村	三木綱平
1454	同	文政二卯年	宇麻郡蕪崎 三木吉右衛門	1493	同年九月	松山藩	天岸左織
1455	同年	西条	矢野周二	1494	同四年十一月	小松藩中	和爾玄轍
1456	同四巳年	大洲内之子	高橋来介	1495	嘉永五年閏二月	松山藩中	西崎松柏
1457	同年	宇和嶋久保野	矢野泰蔵	1496	同年九月	同東明神村	船田昱蔵
1458	合水堂	同年	家中 矢野左門	1497	同七甲寅年四月十有九日		
1459	同	同五午年	西条 西原玄圭			新居郡大保木村	山本良民
1460	同	同六未年	同 近藤荒安	1498	同六癸丑年三月	宇和嶋御庄郡舟越浦	
1461	同	同年	宇和島 浅野歆喜				越 吉斉
1462	同年	吉田	小川寿仙	1499	同年四月	同所平城山下	岡村松眠
			前遊仙卜言	1500	合水堂	安政三年六月	松山藩 望田純蔵
1463	同七申年	大洲中村	松岡健節	1501	同	同年六月	宇和島藩 土倉瑞仙
1464	合水堂	同年	宇和島 土居立仙	1502	安政四巳（年）正月五日	松山藩	
1465	同	同年	松山三津浜 須賀暁平				平田主計
1466	同	同八酉年	大洲 柴 大輔	1503	同年七月	西条新居浦	岩田徳二
1467	同	同年	同 鎌田良球	1504	同（年）八月朔（日）	吉田藩	小川玄廸
1468	同	文政八酉年	吉田 三輪玄溪	1505	同五午（年）四月九日	宇和嶋岩松村	
1469	同	同歳	西条新居浜 岩田義立				森 涛伯
1470	同十亥歳	西条家中，住東都	都筑貞輔	1506	合	同七未（年） <small>(???)</small> 十二月十日	小松藩
1471	文政十一子年	大洲	渡辺元丈				伏見文碩
1472	文政十三寅年	松山	天岸慶仲	1507	同（七）庚申初秋十八（日）		
1473	同年	同所	西崎昇栢			松山藩同心丁（町）	渡部道營
1474	同年	同所	望田秉介	1508	合水堂	文久三（年）九月初五（日）	
1475	天保四年	今治領越知郡佐嶋	田中玄監			宇和嶋喜多郡八幡浜	久保見春
1476	同年	宇和嶋	富永斗門	1509	同	文久三（年）九月初五（日）	
1477	合水堂	同七申年	今治家中 池山龍勢			予州宇和嶋喜多郡八幡浜	久保篤逸
1478	同	同九戌年	松山長町 柴崎隆橘	1510	同	文久三（年）五月念五日	今治藩中
1479	同	同年	宇和島 能島岱斎				磯山栄順
1480	同	同十亥年	同藩中 熊崎観斎	1511	同	文久三（年）五月念八日	
1481	同	同十三寅年	同藩中 川口玄意			松山領三津浜新立	津村俊策
1482	合水堂	天保十四卯年	近永村 布 正泰	1512	合水堂後加勢	明治元戊辰（年）九月九日	
1483	同	同年	今治藩中 保持良造			宇摩郡川之江	高橋济之助
1484	同	同年	宇和島 浅野敬中				

- 1513 従合水堂補入 明治元戊辰(年)九月七日  
越智郡桜井 石丸良斎  
在塾中改大内賢亮
- 1514 合 明治二年巳八月四日  
伊予宇戸郡中ノ庄村 川嶋孔斎
- 1515 同 同八月七日 宇治藩 菅彦輔
- 1516 同 同八月十一日 西条新ノ西浜  
明星為(弟)造
- 1517 同 同霜月十五日 松山三ツ浜 松田隆碩
- 1518 同 同十二月八日 松山藩 宮脇謙輔
- 1519 同 同三年午年(ママ) 閏十月八日  
今治 保持良秀
- 1520 同 同七月十有八日 宇和嶋 熊崎寛良  
土佐
- 1521 寛政 林恭順  
今住于泉州, 鳥取郡西田村
- 1522 文化六巳年 次崎 宮尾元貞
- 1523 同七年午年 高岡郡宇佐村 西村由二郎
- 1524 同年 同所 平井健蔵
- 1525 同八未年 幡多郡入野 上岡天民
- 1526 同九申年 高岡郡新居村 村田栄叔
- 1527 出佐渡之部 同年 雑太郡相川 猪坂尚逸
- 1528 同十四年 吾川郡横島村 山崎見友  
改名代助
- 1529 同年 長岡郡比江村 永野玄孝
- 1530 同年 長岡郡後面村 小栗玄敬
- 1531 同年 吾川郡弘岡村 吉良退爾
- 1532 同十一戌年 宿毛 林太安
- 1533 同十三子年 幡多郡中村 吉松玄太
- 1534 合水堂 同年 宿毛 竹場俊吾
- 1535 合水堂 同年 宿毛 本山左中
- 1536 同 同十五寅年 山本完平
- 1537 同 文政元年 幡多郡下ノ芽村 安光命造
- 1538 同 同年 安嘉郡宝(室)津村  
町田策吾
- 1539 同 同年 吾川郡伊野村 高淵龍斎
- 1540 合水堂 文政二卯年 幡多郡井田村  
小野菜七
- 1541 同三辰年 宇佐浦 江口文哉
- 1542 合水堂 同六未年 香我美郡手野浦  
徳弘祐四郎
- 1543 同 文化寅年(ママ) 高知 楠瀬橋治
- 1544 文政九戌年 香我美郡野市村 中山孔徳
- 1545 文政八酉年 幡多郡入野村 上岡敬七
- 1546 合水堂 文政九戌年 高岡郡宇佐村  
津野省吾
- 1547 文政十二巳丑年 高岡東郡南片岡村
- 1548 同 高岡東郡高瀬村 若藤才次
- 1549 天保三辰年 手結浦 岡本延吾
- 1550 同年 赤岡浦 久河恭叔
- 1551 同二卯年 高岡郡佐川 河村直次
- 1552 同四巳年 安喜郡安喜浦 須藤修斎
- 1553 同五午年 同郡安田浦 高松涛亭
- 1554 同六未年 同郡西分村 佐生足穂
- 1555 天保九戌年 幡多郡井田村 小野省輔
- 1556 同十亥年 同(郡)山路村 小野良輔
- 1557 同年 安喜郡室津浦 千頭玄仲
- 1558 同十一子年 同(郡)宮田浦 宮田尉之輔
- 1559 同十二丑年 高知 岡本玄泰
- 1560 天保十三寅年 手野浦 徳弘鉄弥
- 1561 同年 長岡郡下田村 門田玄達
- 1562 同十五辰年 城下 宮地郁治
- 1563 弘化二巳年 田野 浜口篤蔵
- 1564 同年 田野 福留馬次郎
- 1565 同四年三月 長岳(岡)郡下田村  
中島尚吉
- 1566 同年九月 安喜郡中山村 伊吹泰二
- 1567 嘉永元年四月 高岡郡須崎浦 今橋米治
- 1568 同二年二月 佐川 山崎侃次郎
- 1569 同三年九月 安喜郡田野浦 村木(弟)保次
- 1570 同四年三月 高岡郡佐川 森田玄廸
- 1571 同年三月 八(幡)多郡下田浦  
弘田玄又
- 1572 同年四月 香我美郡植村 五曾蔵隼太
- 1573 同五年三月 高知 生田碩二
- 1574 同年四月 幡多郡平田村 中屋玄助
- 1575 同年同月 高岡東郡佐川 谷济三郎
- 1576 同年八月 西津ヶ在村 川村重三郎
- 1577 同六年四月 長岡郡久礼田村 町推造

1578	同年同月	香（我）美郡下島村	嶋村麟平	1603	文久三（年）正月念一日	高岡東郡新店村	中田藤四郎
1579	同年五月	佐川	堀見文吉	1604	明治三庚午（年）六月	高知郡江の口	真辺 調
1580	合水堂 同六癸丑年十二月	高岡郡与津浦	伊与木仙道	1605	合 明治二巳（年）七月十日	幡多郡	中平守磨
1581	同七甲寅年六月二十有八日	幡多郡宿毛家中	本山猪計	1606	合水堂 文化十一戊年 宗像郡本木村		伊原周蔵
1582	同年十月十有八日	高岡郡上ノ加江浦	岡村斧吉	1607	同十二亥年 怡土郡三雲村		中村万里
1583	安政四丁巳（年）三月二十一日	同東郡佐川	井上健次	1608	同年 秋月家中		加峰礪梁
1584	同十五日	長岡郡角茂谷	西岡齡斎	1609	合水堂 文政元寅年 福岡		八木養軒
1585	同年三月六日	八田（幡多）郡中ノ浜浦	泥谷文碩	1610	同二卯年 秋月		加峰 亨
1586	同三月十五日	長岡郡領石村	大塚恭斎	1611	同年 席田郡金隅村		広田伝亮
1587	同九月十八日	安喜（郡）奈半利浦	安田復三	1612	同四巳年 黒田家中		松本道琢
1588	同霜月十七日	高岡郡森村	森岡広治	1613	合水堂 同七申年 宗像郡宮司村		央 見龍
1589	安政五午（年）四月二十六日	高智	細川春斎	1614	同 同年 裏粕屋郡青柳村		赤星寿敬
1590	同	高智	内田玄碩	1615	合水堂 同年 遠賀郡黒崎駅		波多野修亭
1591	同十月十九日	高智山田町	横矢平格	1616	同八酉年 艶崎浦		吉田寿庵
1592	安政六未（年）初秋十日	宿毛藩	三好有省		今改森道保，名重，字鶴九，号好生堂		
1593	同（七）庚申（年）三月十八日	高知蓮也（池）町	久川東平	1617	同年 黒田家中		山崎道生
1594	同（七）庚申（年）五月七日	高岡（郡）佐川	堀見久庵	1618	同年 遠賀郡底井野村		千々和俊蔵
1595	万延元申（年）十二月	香我美郡夜深村	末延立誠		今改岳好琢		
1596	同二辛酉（年）二月	安喜郡伊尾木浦	安芸敬治	1619	文政十二丑年 秋月家中		加峰凌雲
1597	同三月	土佐郡三谷村	永野良叔	1620	同年 上座郡宮野村		緒方渙兮
1598	同同月	土佐吾川郡弘岡村	吉永道生	1621	同年 秋月下座郡小田		桑野万里
1599	文久二戊（年）正月	香我美郡	近森誠治良	1622	文政十三寅（年）春 秋月		桑野寿伯
1600	文久二戊（年）三月二十八日	土佐長岡	利岡偉三郎	1623	同歳四月 秋月		杉 堅純
1601	文久二戊（年）五月九日	幡多郡入田村	大黒田龍	1624	天保三辰年 入地		調 黄溪
1602	同年九月朔（日）	佐川	千頭順信	1625	同年 大城		平野謙山
				1626	同年 入池		井手三省
				1627	同二卯年 黒田家中		松本元栄
				1628	同四巳年 下座郡矢野竹村		別府加膳
				1629	同五午年 博多津		津田仙山
				1630	天保五午年 太宰府		児島玄斎
							改姓座親
				1631	同年 席田郡金隈村		広田禄円
				1632	同十一子年 鞍手郡上新入村		深江 勤
				1633	同十四卯年 遠賀郡楠橋村		盧 道策
				1634	同年 穂波郡相田村		奥 三育

- 1635 同十五辰年 裏粕屋郡下原村 中野春泰  
 1636 同年 表粕屋郡笹栗村 三之原文明  
 1637 弘化三年三月 福岡 干輪溪梁  
 1638 同四年正月 鞍手郡森次村 津田謙斉  
 1639 同年六月 福岡藩 中村玄武  
 1640 同年八月 福岡 富山長悦  
 1641 同年九月 福岡藩 益田道乙  
 1642 嘉永元年三月 同家中 塚本道徹  
 1643 同年五月 芦屋 加藤松斉  
 1644 同二年四月 久留米 蒲池琳哉  
 1645 同元年九月 秋月 坪田建之  
 1646 同四年六月 福岡 広田隆平  
 1647 同五(年)閏二月 遠賀郡中底井野 二村養叔  
 1648 合水堂 同年四月 嘉麻郡漆生村 弟(▽▽)那道寿  
 1649 同年九月 鞍手郡原田村 深江成一郎  
 1650 同六年五月 遠賀郡 河■島林庵  
 1651 合水堂 同元年 福岡家中 塚本道禎  
 1652 安政二乙卯年四月六日 怡土郡対州領吉井村 阿部玄駿  
 1653 同二年十二月 席田郡金隈 広田伝亮  
 1654 合水堂 同三年四月十五日 高木郡 山本文亨  
 1655 同 同年八月二十六日 宗像郡曲村 真武正意  
 1656 同 同九月二十六日 同本木村 林 采真  
 1657 同五年(年)五月五日 上座郡入地村 山崎雲岱  
 1658 同年庚申(▽▽)旬日 御笠郡通古賀村 陶山敬哉  
 後改名一圭  
 1659 文久元酉(年)四月 筑前穂波郡飯塚村 村山玄育  
 1660 文久元(年)八月 筑前遠賀郡芦屋村 中村大成  
 1661 文久二壬戌(年)九月 宗像郡鐘崎浦 西郷秀徹  
 1662 文久三(年)二月念六日 福岡西新町 武藤道甫  
 1663 慶応三丁卯年二月二十七日 筑前怡土郡深江駅 荻野良貞  
 1664 明治二己巳年六月二十日 筑前遠賀郡則松村 山際三省  
 1665 同己三月二十二日 福岡西新町 有田英山  
 1666 同 那河郡須玖村 朔元 英  
 1667 同八月八日 鞍手郡直方 岡田養正  
 1668 同明治三午(年)五月七日 福岡 村山俊一良  
 1669 同二月二十有八日 同 山崎春英  
 1670 合水堂 文化十一戊年 久留米福島町 古賀元潜  
 1671 同年 同府中駅 榎藤 直  
 1672 同 同十五寅年 柳川 西原仲亮  
 1673 文政二卯年 久留米竹野郡田主丸町 浅井雄啓  
 1674 合水堂 同四巳年 柳川家中 玉真元智  
 1675 同 同五午年 同山門郡 水原春盛  
 1676 同 同七申年 久留米庄嶋小路 平木元成  
 1677 同八酉年 同家中 永野文碩  
 1678 同年 御井郡高良村 林 揚舟  
 1679 合水堂 同九戌年 久留米領上妻郡黒木街 田中元節  
 1680 同十亥年 同山本郡木塚村 市村牧太  
 1681 同 同年 同御井郡本郷町 原 為治  
 1682 同 同年 同郡乙吉村 半井文哉  
 1683 同年 同山本郡放光寺村 豊島真継  
 1684 文政十三寅年 柳川隠居小路 本山有慶  
 1685 天保二卯年 久留米 田中尚綱  
 1686 合水堂 同六未年 同生葉郡吉井 林 周二  
 1687 同 嘉永二年 久留米 蒲池琳哉  
 1688 同 安政三年六月 御井郡大城村 平野宗山  
 1689 安政六(年)七月九日 御原郡西福寺村 義村佐一郎  
 1690 文久二戊(年)二月十六日 早良郡東入部村 広橋 貢  
 1691 同年七月十七日 遠賀郡黒崎駅 久野順節

	豊前	1720	同十二年（国）東郡田染一畠村	
1692	合水堂 文政十亥歳 田川郡下赤村 但シ小倉領 和田秀山	1721	同十三寅年 臼杵大分郡	竹中謙随 橋本織衛
1693	文政十三歳 豊前田中（川）郡今任村 原 文篤	1722	同十二年 似（ママ）杵	小野逞意
1694	同歳 田川郡弓削田 加来東庵	1723	弘化二巳年（国）東郡杵築	後藤三英
1695	合水堂 天保十二丑（年）春 中津 大江達儀	1724	合水堂 天保十五年 臼杵	宮川玄淳
1696	合 弘化二年 宇佐郡中津領若林村 安部原泉	1725	弘化二年 速見郡日出家中	二宮勝寿
1697	同 同年 中津 大江春亭	1726	同三年四月 杵築	河野周民
1698	同三年五月 田川郡下今任村 原 春登	1727	合水堂 嘉永元年二月 杵築古市	片山春泰
1699	嘉永六年三月 宇佐 水之江琢磨	1728	合水堂 同二年十月 府内藩中	西川方策
1700	合水堂 同年五月 中津藩 大江 久	1729	同年三月 佐伯蒲江浦	高橋春悦
1701	同 同七甲寅年四月朔日 田川郡交吉村 藤堂文献	1730	合水堂 同四年十一月 岡藩	葛城徳元
1702	同 同年月日 同郡上野村 村上玄俊	1731	同五年四月 臼杵藩	荘田宗仙
1703	同 安政二乙卯年三月二十八日 小倉 里見文恪	1732	同六年七月 岡藩中	衛藤白英
1704	同三年 小倉藩 武田玄道	1733	合水堂 弘化四年四月 （国）東郡杵築竹田津村	木村文明
1705	合水堂 同年三月 同藩 平田要定	1734	同年四月 大分郡臼杵	橋本謙哉
1706	同 同年六月 小倉 原 周楨	1735	弘化二年四月（国）東郡杵築	後藤三英
1707	同（四）丁巳（年）九月十九日 田川郡採銅所 村田文郁 在塾中改名春平	1736	嘉永七甲寅年六月二十有二日 岡家中	谷川周貞
1708	明治二己（年）五月八日 京都郡稗田村 村上誼三	1737	合 同年五月八日 佐伯藩中	吉川春碩
1709	同 京都郡花熊村 田中修造	1738	安政四丁巳（年）三月六日 杵築領浜崎	佐藤雲二
	豊後	1739	同七月二十三日 日田	正木三省
1710	合水堂 文化十三子年 臼杵藩中 粟田晏貞	1740	同五年（年）皐月七日 臼杵藩	江藤幸碩
1711	同 同十四丑年 佐伯 首藤俊逸	1741	安政五戊午（年）八月 臼杵藩	傍嶋息人
1712	同 文政七申年 臼杵大野郡戸ノ上村 岡本大器	1742	同七庚申（年）閏三月九日 臼杵佐志生村 亀井卜庵	
1713	同 同年 吉弘立庵	1743	文久二戊（年）五月十八日 臼杵家中	江藤亢吉
1714	天保二卯年 上村 町田長之助	1744	明治二年巳正月二日 杵築藩	松成初太郎
1715	同四巳年 日出木下大和守内 小田順亭	1745	明治三年二月十八日 豊後日田県隈町	
1716	同九戌年 大分郡挾間村 三河退造			草野洗耳
1717	同年 同楨田口戸村 秋岡齡助		肥前	
1718	同十亥年 杵築口 片山春悦	1746	文化十一戌年 唐津大川野	川口春台
1719	同年 同所 西村熊哉	1747	同十二亥年 大村医官 今住居長崎外浦町	本川自適 改名杏仙
		1748	同年 蓮池家中	井上友庵
		1749	同十四丑年 佐嘉郡佐嘉片田江	佐野仲安

1750	同十五寅年	平戸	飯富晋太郎	1788	同年	同	川口春龍		
1751	合水堂	文政元寅年	大村家中	待山立理	1789	同年	肥前嶋原	林 泰元	
1752	同三辰年	唐津	松浦貞斎	1790	弘化二年八月	大村宮村	太田康哉		
1753	同四巳年	平戸松浦肥前守家中		1791	合水堂	同三年九月	藤津郡鹿嶋	納富宗謙	
			貞方立養	1792	同四年十月	大村	近藤尚適		
1754	同	同五午年	諫早 <sup>イサハヤ</sup>	高橋良仙	1793	嘉永元年七月	杵嶋郡	毛利理藤太	
1755	合水堂	同六未年	唐津提(堤 <sub>カ</sub> )	川	1794	同二年二月	神崎郡蓮池	坂井英春	
			田代純碩	1795	同年四月	大村彼杵郡構村	朝長良貞		
1756	同	同七申年	佐嘉郡佐嘉	納富順益	1796	同年正月	大村	近藤春庵	
1757			大村	朝永主水	1797	同年三月	佐賀	井上静軒	
1758	同	同八酉年	同	本川厳甫	1798	同年三月	同藩中	佐野栄寿	
1759	同	同年	同	北野寿策	1799	合	安政三年四月	平戸上町	嵐山甫斎
1760	同九戌年	杵嶋郡武雄	河原文伯	1800	合	同年四月	平戸鏡川	神村右中	
1761	同八酉年	彼杵郡	渡辺玄叔	1801	同	安政四巳(年)	二月七日		
1762	合水堂	文政九戌歳	杵嶋郡武雄	奥川栄哲			大村藩	待山宗節	
1763	同	文政十亥歳	藤津郡鹿嶋城鍋島家中		1802	同	同年三月	唐津藩	鶴田文斎
				納富宗益	1803	同年霜月二十日	同	阿部又男	
1764	同	同	大村	中嶋元亨	1804	同十月二十二日	鍋島藩	富永文英	
1765	同	同年	大村家中	待山有隣	1805	合	安政六未(年)	二十一日(マ)	
1766	同	同年	同	待山可善			大村藩	本間丈貞	
1767	同	同年	佐嘉郡蓮池	永田杏庵	1806	合	安政六未(年)	九月十三日	
1768	天保二卯年	佐嘉	林 道慶	1807	文久二壬戌(年)	唐津	瀬戸村	本川禎斎	
1769	同	同年	同	井上仲乙	1808	同年三月	大村藩	河村 東	
1770	合水堂	天保四巳年	大村	近藤文仲	1808	同年三月	大村藩	毛利永節	
1771	同	同六未年	同所	岩永元仲	1809	同年三月	平戸	辻川省吾	
1772	同年	島原家中	小川玄甫	1810	合	文久三亥(年)	三月念一日		
1773	同	同八酉年	大村	稲吉正修			岡山藩	海野健碩	
1774	同	同九戌年	佐嘉藩中	三田昌仙	1811	文久三(年)	四月初五(日)		
1775	同	同年	大村	吉津晋斎			肥前大村彼杵郡龟浦村	朝長文哉	
1776	同	同十亥年	同	長岡文礼	1812	合春	元治二丑(年)	四月念七日	
1777	同	同年	同江之島村	青木春凌			西肥平戸針尾嶋草医	村上晋斎	
1778	同	同年	同崎戸村	御厨成庵	1813	合同	明治二年巳二月二日		
1779	同	同年	大村	本川寿仙			嶋原藩	原口剛平	
1780	合水堂	天保十一子年	佐嘉	相良春栄	1814	同	{合春} 明治元年辰十二月二十八日		
1781	同十二丑年	大村	北野紹栄	1815	同合	明治二年巳八月十五日		草刈俊甫	
1782	同年	島原藩中	小国泰仲				平戸		
1783	同十四卯年	佐嘉藩中	香田文碩	1816	同	明治三年午年十月三日		片山春台	
1784	同年	小城郡小城町	相良柳沢				大村村下		
1785	同年	佐嘉領柄崎	清水宗安				肥前平戸藩	平田弘太郎	
1786	同十五辰年	佐嘉材木町	川副孝哲						
1787	同年	松浦郡大川野村	川口左門						

1817 同 明治三午（年）二月四日  
 同大村藩 天野慎誠  
 1818 同 明治三午（年）七月二十日  
 同 樽美立道  
 1819 同 明治三午（年）閏十月八日  
 同 本間邦太良  
 1820 合 明治三午（年）十月二十有三日  
 肥前大村藩 小島居逸民  
 1821 同 明治三年閏十月八日 同藩 毛利仲民  
 1822 同 明治二巳年六月三日 同藩 太田常梯

肥後

1823 熊本在春竹 松岡梅樹  
 1824 文化十酉年 熊本竹部出屋鋪 渡辺道竹  
 1825 文政七申年 八代郡吉本村 南 友岳  
 1826 合水堂 同十一子年 山本郡 平山甘節  
 1827 天保十二丑年 山鹿郡小原村 原 三省  
 1828 同十一子年 熊本 加藤宗郁  
 1829 同十四卯年 同坪井 鳥飼道意  
 1830 同十五辰年 阿蘇郡高森村 古沢貞升  
 1831 嘉永元年五月 天草郡 桑原千秋  
 1832 同六年六月 山鹿（郡）新町 武藤璋礼  
 1833 安政五午（年）二月十三日 熊本藩 井上真斎  
 1834 合 文久三亥（年）三 {十} 月上旬 土井齊寿

日向

1835 合水堂 文政三辰年 飢肥家中 由地春溪  
 1836 文政十亥年 飢肥家中 弓削隆助  
 1837 同 天保八年 佐土原 井上元達  
 1838 合水堂 万延元庚申（年）仲秋三日  
 飢肥那耶（珂）郡 木脇道隆  
 1839 合 明治二年巳四月十二日  
 高鍋藩 栗原榛斎  
 1840 合春 同五月三日 延岡藩 三浦春二  
 1841 合 同六月四日 佐土原藩 萩原道一

大隅

1842 合 万延二辛酉年正月十八日  
 肝属之郡高山 吉川橙葉

薩摩

1843 文化九申年 鹿児島 西 元哲  
 1844 同年 松平薩摩守家臣 米良養元  
 1845 天保八酉年 都城 大館尚平  
 1846 同十三寅年 鹿児島 重久元養  
 1847 種子島 榎本驢斎  
 1848 合水堂 嘉永五年五月 種子嶋 柳田意哉  
 1849 同七甲寅年七月 鹿児島 中村三圭  
 1850 合 文久元酉（年）五月 鹿児島 山下文鳴  
 1851 文久二戌（年）二月 松前熊石郡 小嶋岱三

○老岐

○対馬

1852 文化十三子年 府中 高雄龍沢

安政二乙卯年五月既望改記、通計千五百有八人

5. まとめ

「稚府春林軒 門人姓名録」と「青洲華岡先生門人姓名録」に記載された国ごと門人総数と、そのうち「合水堂」など（「楽水堂」・「堺」を含む）へ入門した門人数は、次のとおりである。

資料「稚府春林軒 門人姓名録」と「青洲華岡先生門人姓名録」の国別門人数並びに「合水堂」などへの入門者数（単位：人）

	稚府春林軒 門人姓名録		青洲華岡先生 門人姓名録	
	門人数	合水堂門 人数	門人数	合水堂門 人数
山城	30	3	36	5
大和	23	5	28	6
河内	9	5	23	10
和泉	12	2	16	4
摂津	27	8	52	20
伊賀	8	2	16	3
伊勢	22	8	34	9
志摩	3	0	4	0
尾張	19	3	28	6

三河	13	5	18	6
遠江	9	3	21	0
駿河	6	0	10	1
甲斐	7	3	6	1
伊豆	1	0	3	0
相模	1	0	1	0
武蔵	16	5	25	5
安房	(注) 0	0	1	1
上総	3	0	8	1
下総	6	0	10	0
常陸	31	1	33	2
近江	25	4	31	7
美濃	36	11	45	12
飛騨	6	1	9	1
信濃	22	13	26	15
上野	4	0	7	0
下野	4	1	6	3
陸奥	44	5	57	10
出羽	10	1	30	4
若狭	6	0	9	0
越前	13	2	24	4
加賀	37	3	45	5
能登	3	0	4	0
越中	14	2	29	6
越後	8	0	12	1
佐渡	6	1	8	2
丹波	19	4	27	6
丹後	10	2	12	3
但馬	13	1	16	0
因幡	2	1	23	8
伯耆	15	5	38	14
出雲	17	5	34	12
石見	12	2	22	2
隠岐	2	0	3	0
播磨	63	28	87	35
美作	15	6	30	15
備前	35	15	48	17
備中	44	5	61	8

備後	7	0	13	2
安芸	13	4	18	4
周防	17	5	31	12
長門	9	2	21	5
紀伊	105	4	113	6
淡路	15	4	23	6
阿波	41	10	50	11
讃岐	35	12	52	18
伊予	39	12	83	38
土佐	35	8	85	12
筑前	30	5	64	10
筑後	16	8	22	11
豊前	7	0	18	10
豊後	8	4	36	10
肥前	30	18	77	42
肥後	4	1	12	2
日向	2	1	7	6
大隅	0	0	1	1
薩摩	5	2	9	2
壱岐	0	0	0	0
対馬	1	0	1	0
総計	1150	271	1852	478

(注)「門人二三人有之候」とあるが、氏名が書かれていないため0人とした。

・記載の誤りや重複が見られるが、そのままとして算出した。

こうしてみると、「稚府春林軒 門人姓名録」と「青洲華岡先生門人姓名録」には、次のような特徴が見られる。

### (1) 共通点

記載内容を見ると、2つの門人録は天保3年(1832)頃までとてもよく似ている。そして、明治10年代まで記載されており、華岡家への入門が明治以降も続いたことが明らかである。

### (2) 相違点

#### ①「稚府春林軒 門人姓名録」

天保4年(1833)から安政4年(1857)頃まで

の記載が非常に不十分であり、欠けている門人が多い。

しかし、明治10年（1877）まで記載され、門人総数は1,150人、そのうち明治以降の門人は21人（1.8%）である。

当初は、入門時期、住所、身分、氏名などを記載したが、「常陸」「紀伊」「阿波」「伊予」などにおいて、明治4年（1871）以降の門人には、年齢や「受（請）人」・「保証人」も記載し、記載内容が加わっている。

## ②「青洲華岡先生門人姓名録」

安永9年（1790）から明治14年（1881）まで記載され、門人総数は1,852人である。

とくに、「稚府春林軒 門人姓名録」に比べ、門人数が2倍以上増加している国は、次の19カ国である。

河内、遠江、伊豆、上総、出羽、越中、因幡、伯耆、出雲、美作、長門、伊予、土佐、筑前、豊前、豊後、肥前、肥後、日向

また、「合水堂」の入門者が2倍以上増加している国は、次の25カ国である。

河内、和泉、摂津、常陸、近江、下野、陸奥、出羽、越前、越中、佐渡、因幡、伯耆、出雲、美作、備後、周防、長門、伊予、筑前、豊前、豊後、肥前、肥後、日向

この原因は、「稚府春林軒 門人姓名録」における天保4年以降の記載が不正確であることによるものである。その結果、天保年間以降、特に文久年間も入門者が多かった「合水堂」への入門者らが記載されなかった。

そのため、「稚府春林軒 門人姓名録」と比べて門人数は約1.61倍、「従合水堂補入」などを含めて「合水堂」の門人数は478人、約1.76倍の増加となっている。

また、明治以降の門人数も76人、3.61倍となり、「肥前」10人、「伊予」9人、「紀伊」8人、「筑前」6人など、西日本に多いことが注目される。

## 6. おわりに

今回、華岡青洲末裔（本家）が所蔵される国別

門人録2冊を翻刻・公表した。

その結果、呉秀三氏の『華岡青洲先生及其外科』所収の「華岡青洲先生春林軒門人録」（前掲ア）と同一の門人録は、華岡家本家には所蔵されていないことが明らかになった。

今回翻刻した2冊の門人録と、すでに公表した華岡鹿城末裔（分家）が所蔵される国別門人録「華岡門人録」（前掲工）、さらに高橋克伸氏が公表された入門順別門人録「門人録」（前編・前掲ウ）、今後公表されるであろう「同」（後編）により、安永9年（1780）から明治15年（1882）までの門人がほぼすべて明らかになり、華岡家において華岡流の医術を修得した門人がほぼ確定する。

門人それぞれについて、これまでも行われているが、彼らの修学過程や華岡家における医学修業の実態、さらにはその後の医療活動<sup>6)</sup>などについて継続して調査し、明らかにしていく必要がある。

同時に、これらの門人録を通して、次の点も検討する必要がある。

①華岡家の他に彼らが入門した医学塾・漢学塾など<sup>7)</sup>、また彼らの入門を世話した「請人」などを分析することにより、分野を越えた交流を明らかにし、江戸時代における文化の高まりと広がりを俯瞰していく。

②「合水堂」の門人数については、これまで公表された門人録（前掲ア・イ・ウ・エ）、今回公表した2冊の門人録を比べても差異が見られる。今後、高橋克伸氏が公表される入門順別門人録（後編）にもかなりの人数の「合水堂」門人が確認できるため、入門者数の変遷を通して当時の塾主とその活動、「春林軒」と「合水堂」との関係や役割を明らかにしていく。

③門人録には「楽水堂」<sup>8)</sup>や「堺」の表記が見られ、それらの医学塾が「春林軒」や「合水堂」と併設されていたことから、華岡家における医学塾経営の在り方を問い直していく。

華岡流医術、とくに華岡家の麻酔は明治になるとエーテルの普及により急速に衰えていったと考えられているが、明治に入っても多くの門人が入

門した事実を考えると、華岡家の存在意義は、麻醉術の他にも多々あったことが推測される。

今後、華岡青洲・鹿城末裔所蔵の史料などを通して、青洲・鹿城らの生前そして没後、華岡家の医術の何が、どのように伝えられ、後世の医療にどんな影響を及ぼしていったか検討し、華岡流医術の再評価を行っていくべきであると考えます。

## 謝 辞

本稿を執筆するに際し、多くの史料を閲覧させていただくとともに、翻刻・公表につきましてご理解・ご協力をいただきました札幌市在住の華岡家の皆様に深甚の謝意を表します。

## 註

- 6) 門人である大森泰輔については、前掲1)を参照されたい。
- 7) 松江藩の事例については、拙稿「松江藩医学史において松平治郷(不昧)が果たした役割について—藩外の医学、儒学・漢学、国学、兵学の門人録等を通して—」(平成16年(2004)3月、島根県古代文化センター『古代文化研究』第12号)を参照されたい。
- 8) 「楽水堂」について、入門順別門人録(後編)には「合水堂之改名也」と記されているが、春林会が制作した「楽水堂」の置物には、「祖青洲の内塾を春林軒又は楽水堂と称した」と書かれており、一致していない。